



# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場会社名 アイティメディア株式会社  
 コード番号 2148 URL <http://corp.itmedia.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長兼財務経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月3日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 大槻 利樹  
 (氏名) 加賀谷 昭大

TEL 03-6824-9396

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	573	△1.3	△108	—	△107	—	△75	—
24年3月期第1四半期	581	8.3	△35	—	△32	—	△24	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △75百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △25百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△12.03	—
24年3月期第1四半期	△3.93	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,021	3,569	87.9
24年3月期	4,108	3,641	87.9

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,536百万円 24年3月期 3,611百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,300	2.2	△55	—	△55	—	△40	—	△6.38
通期	3,000	4.7	180	29.2	180	19.0	100	△42.6	15.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想における1株当たり当期純利益の計算には、平成24年3月31日現在の発行済株式数から自己株式数を控除した株式数を使用しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	6,372,900 株	24年3月期	6,371,200 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	100,497 株	24年3月期	100,450 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	6,271,955 株	24年3月期1Q	6,263,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

※四半期決算の補足説明資料「平成25年3月期 第1四半期決算説明」を当社ホームページに掲載する予定です。

(当社ホームページ)

<http://corp.itmedia.co.jp/corp/ir/library/earnings.html>

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要などを背景として緩やかな回復傾向にある一方、欧州債務危機、長引く円高、電力供給不足の懸念など依然として先行きの不透明な状況であります。

当社グループの主要顧客であるIT分野では、国内のIT投資が回復基調にあり、大手顧客のほか中小規模の顧客の広告出稿意欲の回復が見られました。エレクトロニクス分野では、国内の半導体製造業の一部が厳しい状況であるものの、世界的なスマートフォン製造及び自動車製造などにおける電子部品需要が拡大基調にあり、広告宣伝活動も回復傾向にあります。コンシューマー分野では、スマートフォン及び高速モバイルブロードバンド通信などの関連市場が引き続き拡大しているものの、主要顧客の広告予算執行に出遅れが見られました。

このような状況下におきまして、当社グループでは、スマートフォン関連市場の拡大に伴う収益拡大に取り組むとともに、費用対効果の高い広告商品の需要増加に合わせた、プロフィール（営業見込み客情報）を提供するターゲティング型商品などを積極的に販売してまいりました。また、業務の効率化と事務所賃料の削減を目的とした本社移転を平成24年7月に実施し、当第1四半期連結累計期間において、当該移転関連費用の計上によりコストが増加しましたが、第2四半期連結会計期間以降において確実なコスト削減が見込まれております。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は5億73百万円（前年同期比1.3%減）、営業損失は1億8百万円（同73百万円利益減）、経常損失は1億7百万円（同75百万円利益減）、四半期純損失は75百万円（同50百万円利益減）となりました。

当社グループは、メディア事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしておりません。なお、メディア分野別の業績概要は以下のとおりであります。

(メディア分野別の概要)

(単位：百万円)

	IT分野	エレクトロニクス分野	コンシューマー分野	その他	メディア事業合計
売上高	337	55	172	8	573
営業損失(△)	△3	△18	△19	△67	△108

(IT分野)

IT分野におきましては、企業の震災対応によるシステム需要の高まりや、クラウド・コンピューティング市場の拡大による広告宣伝需要の回復により、前年同四半期連結累計期間より増収しましたが、移転関連費用の計上により減益しました。以上の結果、IT分野の売上高は3億37百万円、営業損失は3百万円となりました。

(エレクトロニクス分野)

エレクトロニクス分野におきましては、平成23年7月にエンジニア向けデジタルメディア「EDN Japan」を譲り受けたことにより、前年同四半期連結累計期間より増収しましたが、移転関連費用の計上により減益しました。以上の結果、エレクトロニクス分野の売上高は55百万円、営業損失18百万円となりました。

(コンシューマー分野)

コンシューマー分野におきましては、スマートフォン及び高速モバイルブロードバンド通信などの関連市場が引き続き拡大しているものの、主要顧客の広告予算執行に出遅れが見られたこと、前連結会計年度に「BARKS」事業の譲渡を行ったことにより減収しました。以上の結果、コンシューマー分野の売上高は1億72百万円、営業損失19百万円となりました。

(その他)

その他の主なものは、「スマートメディア ビジョン」の実現を推進するスマートメディア分野であります。スマートメディア分野では、既存メディアの情報をスマートデバイスで閲覧できるアプリケーションの拡大を推進するほか、スマートフォン最適化サイト「スマートフォンビュー」を開始しております。また、さまざまなジャンルのトピックについて、キュレーターと呼ばれる専任解説者が価値の高い情報のみを選び、コメントを付けて紹介するメディア「ONETOPI (ワントピ)」のiPhone及びAndroid端末向けリーダーアプリの提供を行っております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は40億21百万円（前連結会計年度比87百万円減）となりました。主な増減の内訳は、受取手形及び売掛金の減少1億23百万円、有形固定資産の増加31百万円であります。

負債合計は4億52百万円（同14百万円減）となりました。主な増減の内訳は、賞与引当金の減少86百万円、資産除去債務(固定負債)の増加22百万円であります。

純資産合計は35億69百万円（同72百万円減）となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より3億34百万円減少し、13億48百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における営業活動の結果、減少した資金は42百万円となり、前年同四半期と比べ19百万円減少いたしました。主な内訳は、税金等調整前四半期純損失を1億7百万円とし、賞与引当金の減少によるキャッシュ・フローの減少86百万円、売上債権の減少によるキャッシュ・フローの増加1億23百万円であります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における投資活動の結果、減少した資金は2億92百万円となり、前年同四半期と比べ2億73百万円減少いたしました。主な内訳は、有価証券の償還による収入30百万円及び定期預金の預入による支出3億円であります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローについては、記載すべき重要な取引がないため記載を省略しております。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、計画通り推移しており、平成24年4月25日に公表しました平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,383,035	1,348,343
受取手形及び売掛金	465,830	342,300
有価証券	829,320	799,863
仕掛品	1,173	2,823
その他	189,688	269,057
貸倒引当金	△144	△71
流動資産合計	2,868,904	2,762,315
固定資産		
有形固定資産	79,057	110,675
無形固定資産	205,454	207,106
投資その他の資産		
投資有価証券	616,737	616,367
その他	338,697	325,369
投資その他の資産合計	955,434	941,736
固定資産合計	1,239,946	1,259,517
資産合計	4,108,850	4,021,833
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,087	54,659
未払法人税等	9,360	3,190
賞与引当金	127,281	40,662
事務所移転費用引当金	75,628	62,898
資産除去債務	29,596	33,000
その他	149,963	217,142
流動負債合計	442,917	411,553
固定負債		
リース債務	5,278	4,550
資産除去債務	—	22,550
その他	18,900	14,175
固定負債合計	24,178	41,275
負債合計	467,096	452,828
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,621,836	1,622,230
資本剰余金	1,665,574	1,665,967
利益剰余金	368,468	292,993
自己株式	△44,422	△44,435
株主資本合計	3,611,456	3,536,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	204
その他の包括利益累計額合計	34	204
新株予約権	30,263	32,043
純資産合計	3,641,754	3,569,004
負債純資産合計	4,108,850	4,021,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	581,593	573,799
売上原価	233,940	253,441
売上総利益	347,652	320,358
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	157,053	150,229
賞与引当金繰入額	27,884	23,611
その他	198,139	255,301
販売費及び一般管理費合計	383,077	429,142
営業損失(△)	△35,424	△108,783
営業外収益		
受取利息	2,539	1,228
その他	834	73
営業外収益合計	3,374	1,302
営業外費用		
支払利息	47	35
為替差損	418	367
営業外費用合計	466	403
経常損失(△)	△32,516	△107,884
税金等調整前四半期純損失(△)	△32,516	△107,884
法人税、住民税及び事業税	662	590
法人税等調整額	△7,000	△33,000
法人税等合計	△6,337	△32,410
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△26,178	△75,474
少数株主損失(△)	△1,557	—
四半期純損失(△)	△24,621	△75,474

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△26,178	△75,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	632	170
その他の包括利益合計	632	170
四半期包括利益	△25,546	△75,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,989	△75,303
少数株主に係る四半期包括利益	△1,557	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△32,516	△107,884
減価償却費	23,775	65,349
のれん償却額	1,190	1,190
賞与引当金の増減額(△は減少)	△85,487	△86,618
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△779	△73
受取利息及び受取配当金	△2,539	△1,228
支払利息	47	35
売上債権の増減額(△は増加)	127,753	123,530
たな卸資産の増減額(△は増加)	△601	△1,649
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,911	3,572
その他	△41,121	△37,229
小計	△21,189	△41,006
利息及び配当金の受取額	1,909	1,513
利息の支払額	△47	△35
法人税等の支払額	△3,044	△2,475
営業活動によるキャッシュ・フロー	△22,372	△42,003
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△99,930	—
有価証券の償還による収入	100,000	30,000
定期預金の預入による支出	—	△300,000
有形固定資産の取得による支出	—	△8,593
無形固定資産の取得による支出	△19,050	△13,884
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,980	△292,478
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△702	△715
その他	—	505
財務活動によるキャッシュ・フロー	△702	△209
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△42,055	△334,692
現金及び現金同等物の期首残高	1,480,127	1,683,035
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,438,071	1,348,343

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。